

宮川／宮川です。
テーマにそって話す。
社会福祉制度の根拠は日本
国憲法にある。
人権宣言などからなっている。
国によっては権利章典など
と呼ばれてもいる。
日本では40条までがこれに
当たる。
自由権、参政権、社会権など。
かつては自由権しかなかった。
権利が深まってきたといえる。
社会保障の背景は社会権。
20世紀前半のドイツの憲法が
最初だ。
国家からの自由だったものが
国家による自由に変わった。
この変化は資本主義と関係す
る。
弱肉強食で、働かなくてはなら
ない。
近世、中世は血縁、地縁、宗
教などが支えていた。
資本主義が始まると農業をや
めて都市へ出ていく。
隣との助け合いがなくなった。
そこでけが、病気などをすると
生きていけなくなる。
貧困は個人の責任と思われ
ていた。
病気は不摂生、自己責任と
考えられた。

資本主義は景気循環に左右
される。
不景気になると失業者が出る。
景気循環による貧困は
社会の責任だ。
そういったのはマルクス。
市場経済に任せず、国家が
救済すべきとの考えが出てき
た。
当時は飢えが問題だった。
国家は貧困から回復する仕
組みを作らなければならなかつ
た。
ここから社会保障制度が具体
化された。